

令和7年度 第2回学校運営協議会

日 時：令和7年10月24日（金） 15:00～16:30
場 所：山梨県立甲府西高等学校 鳳凰館（1階）

次第

（司会 教頭）

- 1 開会の言葉（司会）
- 2 学校長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 報告事項（教育活動報告）
 - ①学園祭「鳳凰祭」について（生徒会主任）
 - ②部活動について（生徒会主任）
 - ③進路指導について（進路指導主事）
 - ④鳳凰学について（総合企画・研修部主任）
 - ⑤国際バカロレア教育について（IB教育推進部主任）
 - ⑥防災行事について（生徒指導主事）
 - ⑦その他
- 5 議事（議長 会長）
 - （1）国際交流について（IB教育推進部、校長）
 - （2）制服の見直しについて（生徒指導・生徒会指導部、教頭）
 - （3）前期学校評価報告と後期学校評価に向けての対応について（教頭）
 - （4）その他
- 6 意見交換
- 7 連絡事項
 - （1）次回学校運営協議会開催について
 - （2）その他
- 8 閉会の言葉（司会）

※今後の予定

第3回学校運営協議会 2月17日（火）

令和7年度 甲府西高等学校運営協議会委員

内藤 貴夫	下飯田東部自治会会長
神田 浩明	P T A会長
石原 敬彦	同窓会会長
渡邊 英裕	学校長
手島 俊樹	元教育長、元校長
佐々木 南実	都留文科大学 文学部国際教育学科 専任講師
向山 哲央	甲府市地域防災課課長
井上 雅博	株式会社アドヴォネクト
高岡 健	甲府市立甲府西中学校校長

座席表

令和7年10月24日（金）

15:00～

甲府西高等学校 鳳凰館（1階）

議長			（司会・三枝教頭）	
渡邊 英裕				（秋山教頭）
向山 哲央				（小池事務長）
井上 雅博				（秋山教務主任）
高岡 健				（早川進路指導主事）
				（柏木生徒指導主事）
				（天野生徒会主任）
				（齊藤総合企画・研修部主任）
				（平本保健主事）
				（後藤総務・教養部主任）
				（野崎 IB 教育推進部主任）

[出入口]

令和7年度甲府西高校「第74回鳳凰祭」

令和7年6月26日(木)～28日(土)、
「CUTIE WEST～YAMA741じゃだめですか
北・南・東キュンとさせちゃう～」のテーマの
もと、第74回鳳凰祭を実施しました。

1日目（26日(木)）

YCC 県民文化ホールにて行いました。一般公開は未実施でしたが、保護者の参観を実施し多くの方にご来場いただきました。生徒が趣向を凝らした演出で幕を開けたオープニングからはじまり、ダンス部、演劇部の発表が行われました。2年次の発表では、ダンスを中心とした発表を行いました。各クラス、限られた時間の中で工夫をしながら素晴らしい演出で発表しました。国際教養部では、学生が模擬的に国際問題について議論する国連会議のシミュレーションを、解説を交えながら発表しました。午前の発表を締めくくる3年次発表では、オリジナルのシナリオと演出で作り上げる演劇の発表が行われました。



午後の部では、ブロック合唱、箏曲部、音楽部、吹奏楽部の発表を行い、生徒たちを盛り上げました。最後に2日目の予告動画を上演し、1日目を締めくくりました。



2日目（27日(金)）

例年準備の日として設定していましたが、「西高生の時間」を新設しました。昨年度の生徒アンケートから、3日目は模擬店の運営に従事することが主となり、大空杯（部等による大空像前での発表）など開催行事を楽しむことができない状況がありました。生徒が3日目の行事を短時間でも楽しみたいという意見を反映させる形で実現しました。この日の発表では例年発表の機会が無かった部活動の発表なども行われ、生徒たちにとって有意義な時間となりました。



3日目（28日(土)）

一般公開となり、保護者・一般、中学生など、累計1500人を超える方々にご来場いただきました。この日にも「西高生の時間」を一般公開前に設定し、生徒たちは主に模擬店を楽しむことができました。一般公開終了後は体育館にて閉祭式（エンディング）を行い、エンディングバントの演奏や各種結果発表を行い、第74回鳳凰祭が幕を閉じました。



令和7年度甲府西高校「部活動報告」

■全国大会出場

○第49回全国高等学校総合文化祭香川大会出場

- ・吹奏楽部
マーチングバンド・バトントワリング部門出場
- ・報道部
放送朗読部門出場（3年・宮川華奈子）
- ・囲碁将棋部
囲碁部門男子個人出場（3年・小林信太郎）
将棋部門男子団体出場（2年・矢崎蒼空/2年・清水葵空/3年・上垣大知）
将棋部門男子個人出場（1年・野村泰暉）
- ・文芸部
百人一首かるた部門出場（2年・小野成斗）
文芸俳句部門出場（3年・西海朱梨）



○令和7年度全国高等学校総合体育大会

- ・フェンシング競技
第71回全国高等学校フェンシング選手権大会
男子個人対抗エペおよびフルーレ出場（2年・中村諭志）

■関東大会出場

○令和7年度関東高等学校ソフトテニス大会

- ・男子ソフトテニス部
男子ペア出場（3年・船木愛欄／3年・中山和樹ペア）

○第76回関東高等学校選手権水泳競技大会

- ・水泳部
100M 平泳ぎ出場（3年・飯島瑞生）
100M、200M 自由形出場（2年・三品佐歩）
100M、200M 平泳ぎ出場（3年・松沼真由）

400M フリーリレー、800M フリーリレー、
400M メドレーリレー出場（3年・鈴木優芽/3年・松沼真由/2年・鈴木優羽/2年・三品佐歩）

○第77回関東高等学校陸上競技大会

- ・陸上部
男子110mハードル・8種競技出場（3年・上田望）
男子3000mSC出場（2年・武井尚央）

○令和7年度関東高等学校体操競技大会

- ・体操部
体操女子団体出場
体操女子個人出場（2年・小澤くるみ）

○令和7年度西関東吹奏楽コンクール

- ・吹奏楽部 出場

○令和7年度関東高等学校フェンシング大会第67回関東高等学校フェンシング大会

- ・フェンシング競技
男子個人対抗フルーレ出場（2年・中村諭志）



令和7年10月15日時点

1 大学合格状況（過去5年間）

卒業年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 2年度
クラス数	5	5	6	6	6
(卒業生数)	(182)	(198)	(203)	(220)	(233)
国立大学	75	84	85	110	86
公立大学	33	42	39	52	50
私立大学	246	363	436	482	368
大学校	1			1	
短期大学	2	8	4	2	4
各種専修学校	3	6	5	3	7
海外の学校	1	5	2		
就 職				1	

2 進路決定状況（過去5年間）

卒業年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 2年度
国立大学	73	82	79	106	82
公立大学	26	35	29	46	40
私立大学	52	62	73	52	78
大学校	1				
短期大学	1	2	1	1	2
各種専修学校		3	3	2	4
海外の学校	1	1	2		
就 職				1	
進学準備	28	13	16	12	27

令和7年度 第2回進路希望調査

令和7年8月実施

1 種別志望者 (増減：第1回との比較人数)

年次	国立大	公立大	私立大	海外大	大学校	短期大	専門・各種	就職	進学（未定）	総計
1	135 (67.5%)	39 (19.5%)	19 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	200
増減	▲ 11	29	7	0	0	0	1	0	▲ 28	
2	122 (72.2%)	31 (18.3%)	15 (8.9%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	169
増減	▲ 11	5	3	▲ 1	0	0	0	0	0	
3	108 (55.7%)	46 (23.7%)	36 (18.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	194
増減	▲ 20	7	15	▲ 1	0	0	0	0	0	

2 第一志望大学 (志望者数2人以上)

<3年次>		<2年次>		<1年次>	
大 学	志望人数	大 学	志望人数	大 学	志望人数
山梨大	26	山梨大	39	山梨大	51
東京都立大	22	東京都立大	18	信州大	13
信州大	11	信州大	11	千葉大	9
静岡大	11	千葉大	10	筑波大	9
横浜市立大	9	筑波大	7	東京都立大	9
千葉大	8	横浜国立大	5	横浜国立大	8
筑波大	8	埼玉大	5	都留文科大	7
名古屋大	5	静岡大	5	名古屋大	6
東京農工大	5	名古屋大	5	静岡大	6
東北大	4	神戸大	4	静岡県立大	6
東京外語大	4	静岡県立大	4	東京学芸大	5
横浜国立大	3	電気通信大	4	横浜市立大	5
金沢大	3	山梨県立大	3	東京科学大学	4
青山学院大	3	新潟大	3	山梨県立大	4
明治大	3	早稲田大	3	東京外国語大	3
一橋大	3	東京外国語大	3	大阪公立大	3
早稲田大	3	東京農工大	3	京都大	2
立教大	3	東北大	3	電信大	2
都留文科大	3	お茶の水女子大	2	電気通信大	2
明治学院大	3	金沢大	2	東京農工大	2
大阪公立大	2	東京科学大	2	富山大	2
大阪大	2	東京海洋大	2	静岡文化芸術大	2
京都府立大	2	都留文科大	2	明治大	2
新潟大	2	北海道大	2	立命館大	2
電気通信大	2	立教大	2	神奈川大	2
富山大	2				

令和7年度 前期進路関係行事実施状況

山梨県立甲府西高等学校 進路指導部

	1 年	2 年	3 年
4月	11(金)スタディーサポート 14(月)第1回進路希望調査	10(木)スタディーサポート 11(金)スタディーサポート 14(月)第1回進路希望調査	10(木)学力テスト 11(金)学力テスト 14(月)第1回進路希望調査 25(金)進路ガイダンス
5月		17(土)第1回全統記述模試	16(金)・17(土)第1回全統記述模試 31(土)大学入学共通テスト模試
6月	2(月)進路ガイダンス	9(月)進路ガイダンス	2(月)大学入学共通テスト模試
7月	5(土)ベネッセ総合学力テスト 25(金)・28(月)・29(火)夏季課外 30(水)～8/3(日)夏季特別課外(外部)	5(土)ベネッセ総合学力テスト 25(金)・28(月)・29(火)夏季課外 30(水)～8/3(日)夏季特別課外(外部)	4(金)・5(土)ベネッセ総合学力記述模試 7(月)共通テスト出願説明会① 12(土)第1回小論文講座 24(木)・25(金)第2回全統共通テスト模試 28(月)～8/1(金)夏季課外Ⅰ
8月	1(金)～12(火)PTA進路講演会(オンライン配信) 23(土)第2回全統記述模試 25(月)第2回進路希望調査	1(金)～12(火)PTA進路講演会(オンライン配信) 23(土)第2回全統記述模試 25(月)第2回進路希望調査	1(金)～12(火)PTA進路講演会(オンライン配信) 6(水)～8(金) 夏季課外Ⅱ 9(土)第2回小論文講座 20(水)・21(木) 夏季課外Ⅲ 23(土)第2回全統記述模試 25(月)・26(火)学力テスト 25(月)第2回進路希望調査 31(日)第3回小論文講座
9月	6(土)土曜課外 27(土)土曜課外	6(土)土曜課外 27(土)土曜課外	19(金)共通テスト出願説明会② 5(金)・6(土)第1回共催大学入学共通テスト模試

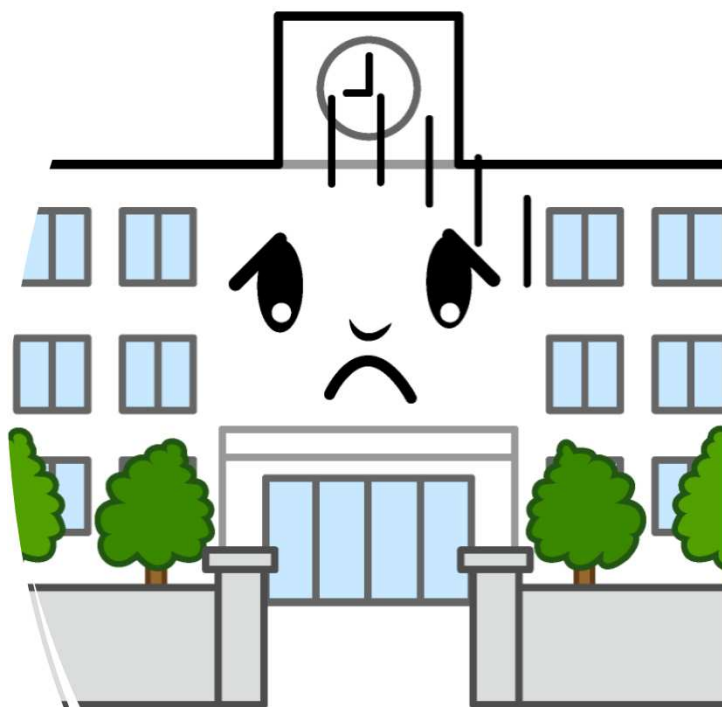
総合的な探究の時間実践発表

山梨県立甲府西高等学校
総合企画部
齊藤正樹・松田光司

1

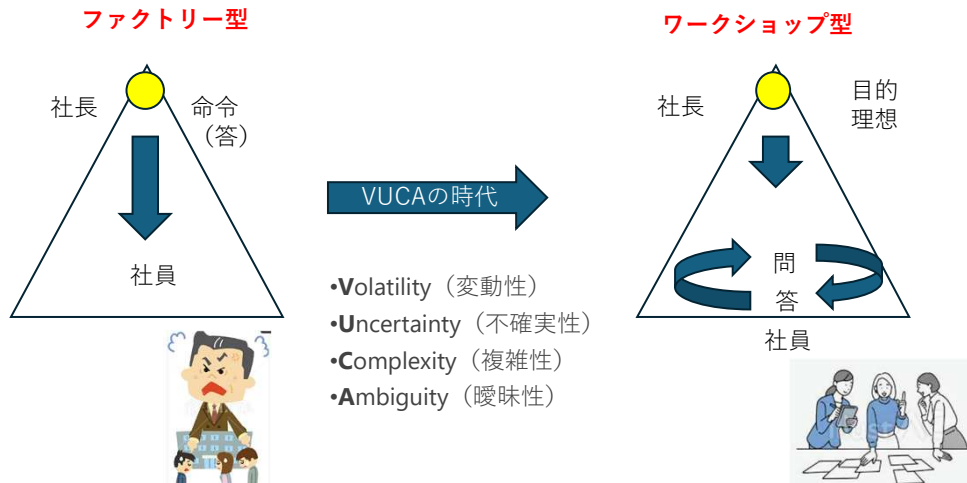
prologue

現在、教育現場に求められているもの



2

組織の変化



3

流行っている取組み／廃れた取組み

< 廃れた取組み >

野球

学校（全日制）

< 流行っている取組み >

サッカー

バスケット

テニス

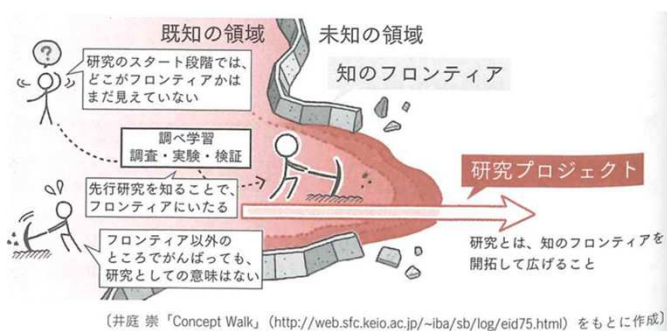
通信制高校

探究学習

4

今後学校が取り組むべき課題

探究学習



個別最適化学習



7



8

甲府西高校の探究学習の取り組み

内容：3年間かけて探究のサイクルを2回まわし、論文を作成する

授業時間：半期 1 週間で1時間・半期 2 週間で1時間（全年次同じ）

スケジュール：1年次→試行研究・発表会

2年次→研究・中間発表会

3年次→最終論文発表会

n-Quest（代表者10人によるコンテスト）

指導体制：全校職員がSV（スーパーバイザー）として5人程度の生徒の研究をサポートする

9

西高の探究学習の特徴

「一人一人の生徒が自分のテーマをもって研究する」

→グループ研究の方法はとらない

→テーマを外から与えない（SDG s などを使わない）

∴一人一人の「自分ごと」の研究にならない

10

リサーチクエスションの例

海外のファッションから考える現地の人々の価値観

ごみ焼却割合が多い国の環境パフォーマンス指数が高いのはなぜか
「ゴジラのテーマ」とスペイン音階

日本の文学における恋愛に時代を超えた共通点はあるのか

山梨県国中地方方言の仮定形「ロバ形」と関東地方諸方言の仮定形の関連性の検証

学校うさぎの命を守る～うさぎを飼育環境面から守るためには何ができるか

11

使用テキスト 啓林館 岡本尚也著



12

西高オリジナルテキスト（全122ページ）

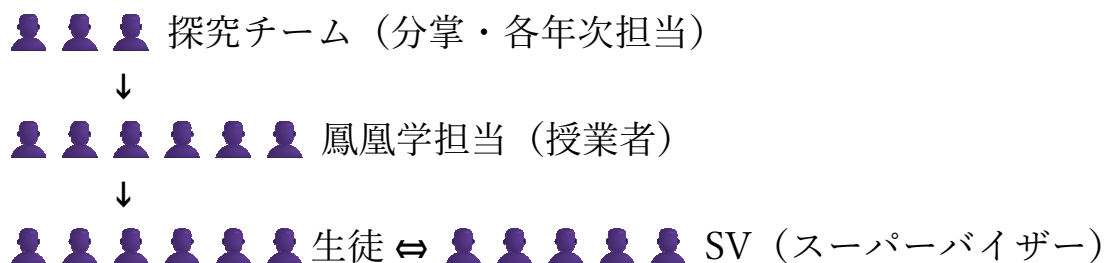


QRコードからダウンロード可能です



13

校内指導体制



14

S-Smeet 生徒と指導教員のマッチング



生徒

希望の**教員2名**の選択→→→→→→→→



教員



生徒の研究内容を聞き **9名に承認印**を押す



探究チームによるSVの決定



SVは1名につき5名程度の生徒の研究に伴走する

15

SVスタディーフィールド

職員番号	氏名	スタディーフィールド
1	〇〇〇〇	英語・行政分野・健康維持
2	〇〇〇〇	数学・統計・情報・コンピュータ・プログラミング
3	〇〇〇〇	英語・英米文学・サックス
4	〇〇〇〇	日本語学・短歌・俳句・コーヒー・紅茶・江戸時代の絵画
5	〇〇〇〇	日本文学・古典・茶道
6	〇〇〇〇	書写・書道・国語全般
7	〇〇〇〇	国語全般・弓道
8	〇〇〇〇	『源氏物語』
9	〇〇〇〇	アイドル（特に坂道系、その中でも乃木坂）・打楽器・声優・アニメ・新潟県
10	〇〇〇〇	車・バイク・ロードバイク・サッカー・ランニング
11	〇〇〇〇	世界史全般・バスケットボール
12	〇〇〇〇	世界史・海外旅行・ピラティス・茶道・ペランダ菜園&ハーブ栽培
13	〇〇〇〇	日本史全般（特に近代史）、国内政治・経済・国際政治・経済、Jリーグ、自動車
14	〇〇〇〇	旧ジャニーズ（アイドル・Jpop・推し活等）・日本史（主に飛鳥奈良平安時代）・公民・お菓子（食べる方）
15	〇〇〇〇	防災・まちづくり・地理・比較文化・平和教育・ハンドボール・アニメゲーム・バイク・聖地巡礼・食品ロス・動物園・多文化共生
16	〇〇〇〇	政治・経済・法律・蕎麦打ち・野菜づくり・料理・株式投資・野球動作解析・野球データ解析

16

2 年次中間発表会



17

1 年次試行研究発表会



18

n-Quest（西高 探究の日）

7月23日（水）

8:00～8:45	準備
8:45～9:00	一般生徒入場・点呼
9:00～9:10	開会行事
9:10～10:30	基調講演（山梨大学・若山照彦教授）
10:30～11:30	ポスター発表（ホワイエ）→3年次各パート8名（56名） 大ホールではスライド発表リハーサル
11:30～12:10	昼食
12:10～13:20	スライド発表①
13:20～13:30	休憩
13:30～14:40	スライド発表②
14:40～14:50	IB活動成果報告
14:50～15:05	休憩・審査
15:05～15:35	結果発表・講評
15:35～15:45	閉会行事
15:45	終了

19

n-Quest 論文集



山梨県立甲府西高等学校

第4回

課題研究論文発表大会

「n-Quest 西高探究の日」

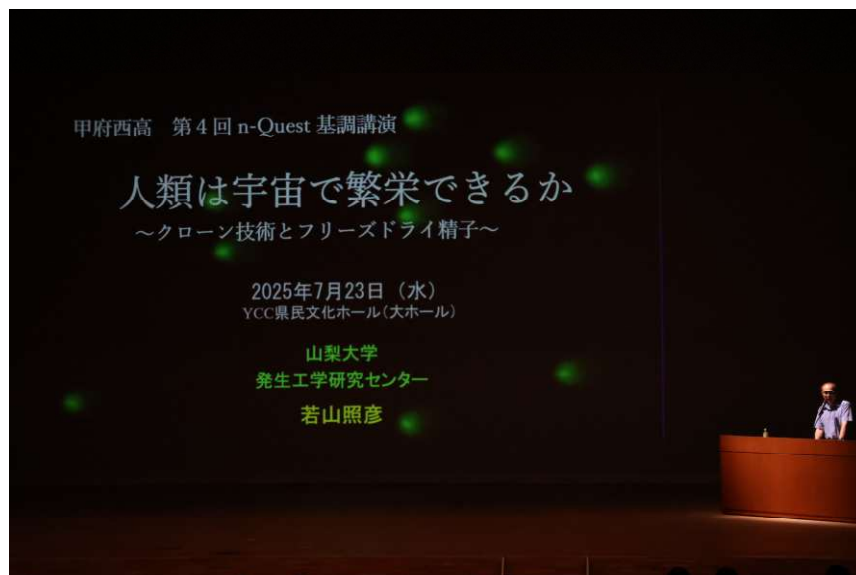
2025. 7. 23

YCC 山梨県民文化ホール

甲府西高等学校
Maifu West High School

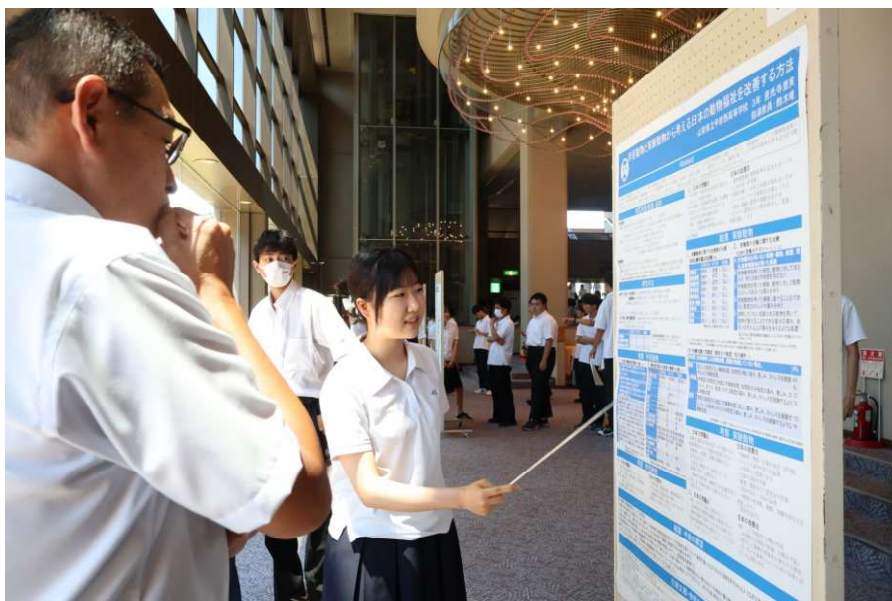
20

基調講演 山梨大学 若山照彦先生



21

ポスター発表



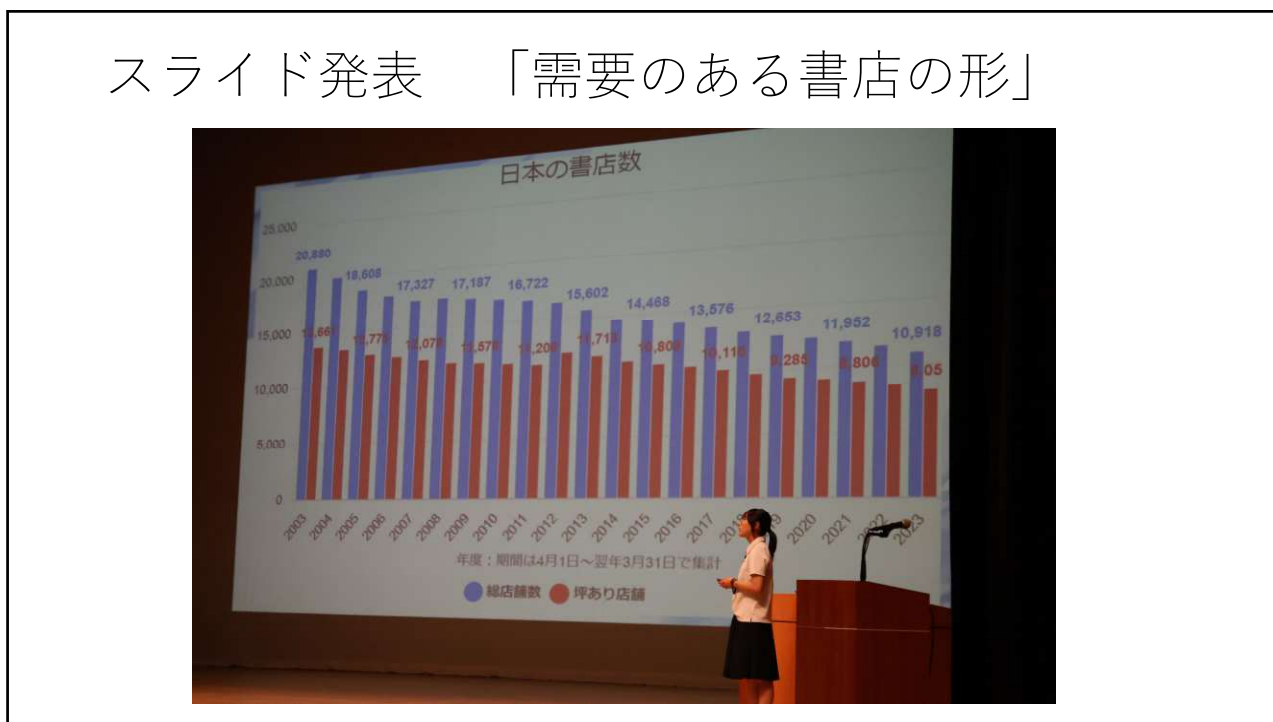
22

ポスター発表



23

スライド発表 「需要のある書店の形」



24

「ヘアアイロンによる毛髪のダメージの違い」



25

「炭酸水の唾液緩衝能の程度とは」



26

「スポーツカーのエンジン音を音響心理学で考える」



27

「商圈の重なり度合いを考慮したハフモデルの新手法」

ハフモデルの新式

$$P_{ij} = \frac{S_j T_j U_j / (D_{ij})^\beta}{\sum S_k T_k U_k / (D_{ik})^\beta}$$

28

最優秀賞「濡れた紙冊子をきれいに乾かす方法」



29



第1回 山梨県高校生 探究発表大会

30

I
日程

9:00	受付
9:30	開会行事
9:50	基調講演
11:00	準備・移動
11:20	生徒発表(1)
	① ゴスター部門(交授)
	② スライド部門(コンテスト)
	③ 展示・販売部門
12:20	昼食・休憩・交授
13:20	生徒発表(2)
14:20	休憩・審査
14:35	移動(アイメッセへ)
14:50	各部門表彰・スライド発表代表3名発表(全体会)
15:26	休憩・審査
15:36	グランドプリ賞発表・表彰
15:46	講評・閉会行事
16:00	終了

31

基調講演 山梨大学 内田誠先生(燃料電池)



32

ポスター発表（交流部門）



33

ポスター発表（交流部門）



34

スライド発表自然科学分野最優秀賞 甲府西高校



35

スライド発表人文・社会分野最優秀賞 山梨英和高校



36

スライド発表地域課題分野最優秀賞 甲府南高校



37

展示・販売部門（都留高校）



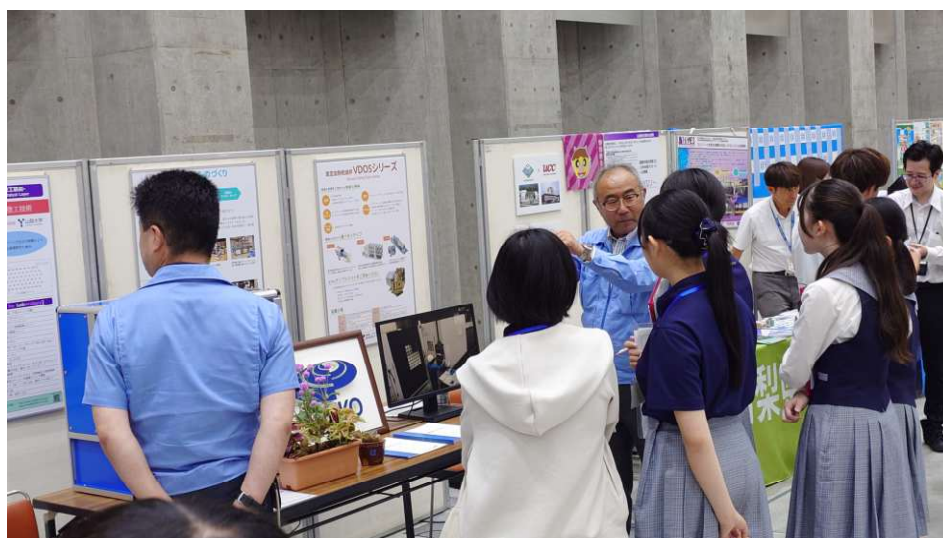
38

展示・販売部門（甲府南高校）



39

山梨の企業紹介部門（メイコー）



40



41

山梨日日新聞

2025. 7. 27

梨日日新聞

2025年(令和7年)7月27日 日曜日

探究学習成果を披露
高校生初の合同発表

甲府南高 最高賞

電車のおもちゃを使い、探究学習の内容を発表する高校生
＝甲府・アイメッセ山梨

県内の高校が学校を取り組む探究学習の成果を発表する「第1回県校探究学習発表会」(同実行委員会)が26日、甲府・アイメッセ山梨で開かれた。生徒は特選賞を獲得し、最優秀の発表や、数々の賞状を受ける機会に当たって発表。スライドにまとめた学習内容を発表し、観客の「スライド発表部」では、甲府南高のグループがグランプリに選ばれた。

12校から約300人が参加した「スライド発表部」は、個人のほか、学年内や部活動にまたがるグループが事前スライドとともて発表する。スライド発表は、学年内や部活動にまたがるグループが事前スライドとともて発表する。スライド発表は、学年内や部活動にまたがるグループが事前スライドとともて発表する。

かいじネットワーク

華麗な舞 高原の夜彩る
清里フィールドバレエ開幕

清里フィールドバレエ開幕

清里フィールドバレエ開幕

42



43

令和7年度第2回学校運営協議会資料

令和7年度 甲府西高等学校 国際バカロレア（IB）関連行事等について

IB 教育推進部

1. アセスメント（評価） 【3年次 フルディプロマ生、単科履修生】

□課題提出 【日本語 A】【English B】【歴史】【化学】【数学】【美術】【TOK】【課題論文】

全 12 課題（研究レポート、ディスカッション等の口述、美術作品、等）

9/15, 10/20, 10/30 IB 提出期限

□筆記試験 【日本語 A】【English B】【歴史】【化学】【数学】

全 13 試験（1 時間～2 時間 30 分）

10/27～11/11（延べ 9 日間相当） 校内実施→答案 IB へ送付

*参考：6 月上旬～7 月上旬【模擬試験 1】 9/9～9/13 【模擬試験 2】兼定期試験

□終了報告 【CAS】 *CAS(Creativity Activity Service 創造的活動 運動的活動 奉仕活動)

（18 か月間にわたる 3 分野をカバーする複数の活動、ポートフォリオ作成、等）

12/1 IB 報告期限

2. 履修ガイダンスと成果発表

□10 月 45 日（土）1 年次生土曜講座「Pre IB 講座」【1 年次生全員】

*1 年次生への IB 履修ガイダンスとフルディプロマ生成果発表を兼ねる講座：

1 年次生が「TOK 展示」「美術展示」「CAS ガイダンス」に参加する

○「TOK 展示」（場所：体育館） 発表者：【2 年次フルディプロマ生】

*TOK(Theory of knowledge 知の理論)：「知識」とは何かを学ぶ学習

・概要：1 つの「問い」に関して、現実社会の 3 つの事物をあげて、分析・発表する。

1 年次生は同じ問いについて自分でも考えて、比較する。

○「美術展示」（場所：校内 8 か所） 発表者：【3 年次フルディプロマ生】

・概要：自らが制作した作品数点を使い、伝えたいメッセージに沿った展示を作成して、作品の意図や展示のテーマを説明したり、実演したりする。

□5 月 16 日（金）IB 保護者合同ガイダンス 於県立文学館【1 年次生希望生徒・保護者】

○内容・IB の履修についての説明（IB 教育推進部）

・IB 生の学校生活、感想等発表 【2・3 年次フルディプロマ生】

・進路等についてビデオメッセージ 【卒業生】

○1 年次参加希望は各クラス 15～20 名前後



3. CAS 活動【2・3 年次フルディプロマ生】

□活動例 1 中学生向けの「IB 紹介動画」「IB 紹介パンフレット」(2 年次生)

- ・HP 上での学校説明、オープンスクールで公開/配付

□活動例 2 校内向け「使用済みコンタクトレンズケース回収プロジェクト」(3 年次生)

- ・家庭への通知等を通じて、保護者にも協力要請

4. 授業研究【教員】

□6 月 13 日(金) IB 公開授業研究会

- ・2 年次「数学」「化学」、3 年次「英語」「歴史」を公開
- ・研究テーマ『論じる』スキルの育成について、教科分科会、全体会にて研究協議
- ・研究協議講師 都留文科大学教授 原和久先生

令和 7 年度 国際バカロレア 関連指導計画

IB 教育推進部

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月
高3	行事等 ・ DP 始業式[4/14] ・ DP 保護者懇談会[4/25]	・ IB 合同ガイダンス 生徒登壇				
評価	([IA]History, [IA]Mathematics, [EA]Japanese A, [EA]TOK)		・ Mock Exam	・ [IA]Chemistry 実験	・ [IA]English B	・ Mock Exam(定試)
高2	行事等 ・ DP 始業式[4/14] ・ DP 保護者懇談会[4/25] ・ DP ハンドブック配付	・ IB 合同ガイダンス 生徒登壇		・ EE supervisor 決定		・ オープンスクール [8/30]
高1	科目選択指導 <普通科履修説明>	・ IB ガイダンス [4/28](LHR) ・ IB 合同ガイダンス [5/16](文学館)	<履修仮登録提出>	<三者懇談> <履修仮登録>		
体験授業			・ 授業ガイダンス /体験期間～10月			
中3	広報		・ 中学教員対象 説明会[6/5]			・ オープンスクール [8/30]
教員	研修等		・ 公開授業研究会 [6/13]		・ IB ワークショップ	
指導法研究会	[4/24]	[5/15]		[7/10]	[8/27]	

R7	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高3	行事等 ・ PG フィードバック				・ DP 修了式[2/28]	
評価	・ 筆記試験(EA) ・ [IA]美術展示	・ 筆記試験(EA)				
高2	行事等 ・ TOK 展示発表				・ DP 受験科目登録	
評価		・ 科学協働プロジェクト ([IA]TOK, [EA][IA]Visual arts(系統的に提出))	・ [IA]TOK 展示			・ [IA]Japanese A
高1	科目選択指導 ・ preIB 土講座 ・ IB 履修相談会[10/16]	<履修本登録提出>		<三者懇談> <履修本登録>	<DP 科目選択者決定>	
体験授業	・ preIB 土講座			・ CAS 講座(放課後)	・ CAS 講座(放課後)	・ CAS 講座(放課後)
フルディプロマ 生講座(1月～)	・ TOK 展示・美術展 示見学 [10/5]			・ DP 講座(放課後) ・ EE 講座(放課後)	・ DP 科目準備講座	・ DP 科目準備講座
広報						
教員	研修等				・ IB 全体研修会 [2/14]	
指導法研究会	[10/3] (成績会議IA, PG)	[11/26]	[12/19]	[1/15]	[2/18]	[3/12]

令和7年度 第1回防災避難訓練実施計画

生徒指導・生徒会指導部

1 訓練目的

火災や地震が発生あるいは発生が予見される時、的確に対処し自己の安全が確保できるよう確実な防災意識を養うことを目的とする。また災害はいつ起こるか分からないという自覚をもって普段から防災意識を高めておくことが、「いざ」というとき自己の身の安全を守る上でたいへん重要な役割を果たすことを認識させる。

2 日 時 令和7年4月11日（金） LHR（13：05～14：10）にて

3 実施内容

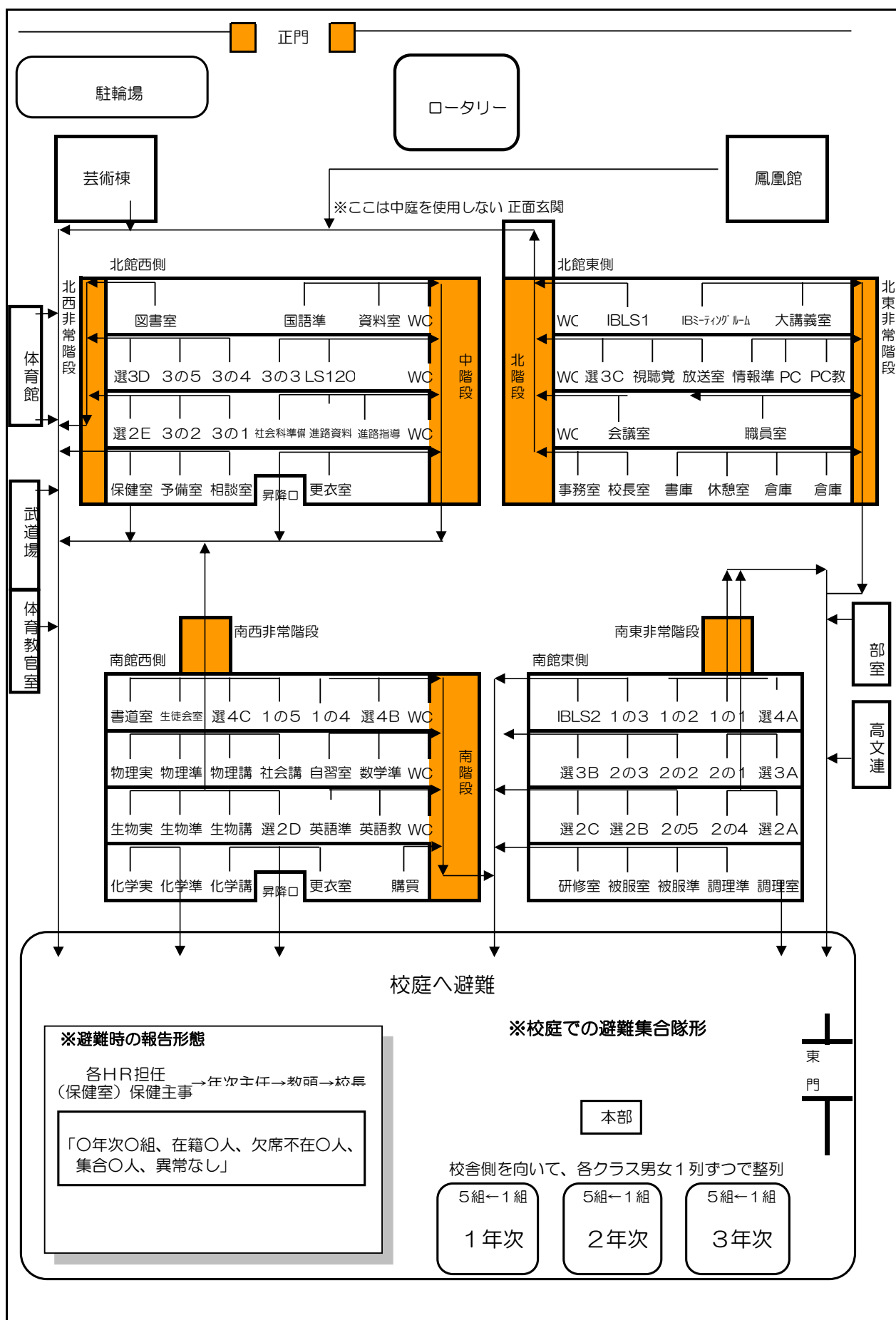
- (1)図上訓練－生徒調査（指導）票Bを配付して、裏面の帰宅ルート、徒歩帰宅方法等についての確認を行う
- (2)能登地震や東日本大地震などの大地震を踏まえ、この地域で発生が想定される大地震への対策についての説明と帰宅ルート図の確認および訂正
- (3)緊急連絡メッセージ送信訓練
1年は Teams・BYOD 利用可能後、2・3年は Teams チャットにて確認

4 連絡事項

資料をもとに、担任の先生の指導でお願いします。（資料・用紙・詳しい手順は後日用意します）。

- ①校内の避難経路の確認
- ②生徒個人調査票B（生徒環境部保管用）配付
裏面の「地震等の災害時に学校から徒歩で帰宅する場合」の確認
- ③通学方法や住所が変わった生徒の確認
- ④緊急時の飲料水と非常食料の備蓄がしてあることを説明
卵・小麦粉・牛乳についてのアレルギーがある生徒について確認
- ⑤緊急連絡メッセージの送信方法の確認及び説明
帰宅後、2・3年生は Teams チャットにて「1701 岡本太郎 無事帰宅」と書き、担任の先生に送信（1年生は Teams・BYOD 利用可能後に実施）し、担任の先生が確認

甲府西高校避難経路図



東海地震関連情報・警戒宣言発令及び地震発生時への対応

山梨県立甲府西高等学校

①「注意情報」発令 東海地震の前兆現象が高まったと認められた場合

- 生徒は、登下校中・授業中・特別活動中(校外活動を含む)、いずれの場合も担任または引率教員などの指示に従い、通常の登下校方法で帰宅する(原則としてこの段階では学校宿泊はしない)
- 生徒は帰宅後速やかに、Teams かe-メッセージで送信、または電話で学校に連絡する

②「警戒宣言」発令 およそ半日以内に地震が発生するおそれがあると認められた場合で、公共交通機関の運行停止・一般車両の通行規制・金融機関等の営業停止等の措置がとられ、警戒宣言が解除されるまで学校の授業等は一切停止される 甲府西高校では防災対策本部を開設します

	学校の対応				家庭の対応	
	生徒の対応		職員の対応			
	②「警戒宣言」発令	③地震発生	②「警戒宣言」発令	③地震発生	②「警戒宣言」発令	③地震発生
登下校中	●登校時は、自宅または学校の近い方へ速やかに向かう ●公共交通機関に乗車中は車掌等の指示に従う ●学校に到着した生徒は帰宅準備をして各HRで待機する ●下校時はできるだけ速やかに帰宅する ●帰宅した生徒はTeams かe-メッセージで送信する	●あわてずに安全を確保する ●鞆等で頭部を守り、ガラスや落下物に十分注意する ●ゆれがおさまったら、学校・自宅・近隣指定避難所のいずれか近いところに向かう ●安否情報を家庭や学校に伝える ●帰宅した生徒はTeams かe-メッセージで送信する	●学校内及び学校周辺で生徒を掌握する ●情報収集をはかる ●生徒及び家庭との連絡体制を確保し、ホームページ等で指示情報を発信する ●下校時の生徒の安全を確保する	●校内の生徒の安全を確保する ●情報収集をはかる ●生徒及び家庭との連絡体制を確保し、ホームページ等で指示情報を発信する ●下校時の生徒の安全を確保する	●生徒の通学ルートを確認して近隣まで出迎え、必要に応じて学校まで迎えに来る(公共交通機関が不通になる場合がある) ●親戚等の一時保護場所との連絡をとる ●学校のホームページ等で状況や学校からの連絡を確認する	甲府西高HPのURL: www.nishi.kai.ed.jp
在学時	●授業を中止し、帰宅準備をしてHRで待機する ●指示に従って帰宅する ●帰宅が困難な場合には、親戚・知人宅の保護場所または、学校に宿泊する ●帰宅または保護場所へ落ち着いた生徒はTeams かe-メッセージで安否を送信する ●校外活動時には直ちに活動を中止して引率者の指示に従って待機、帰宅する	●机の下に入り身体の安全を確保する(1次避難) ●校舎外にいる場合は、塀や建物から離れ、身体の安全確保をする ●校内放送や職員の指示に従って校庭へ2次避難する ●ゆれがおさまったところで職員の指示に従い、体育館・鳳凰館等で帰宅待機する ●帰宅が困難な場合には、親戚・知人宅の保護場所への移動、または学校に宿泊する ●帰宅または保護場所へ落ち着いた生徒はTeams かe-メッセージで安否を送信する	●授業を中止して校内放送等で指示し、各HRで帰宅準備、待機させる ●生徒の状況を掌握し、安全を確保する ●ホームページ等で帰宅指示情報を発信する ●安全確認をした上で、帰宅または保護場所への移動を指示し、帰宅が困難な生徒の掌握と対応を確実に進める ●Teams 等で安否確認を行う	●授業を中止して校内放送等で1次避難行動の指示を出す(机の下へ入る等) ●生徒の状況を掌握し、安全を確保する ●ゆれがおさまったところで校内放送等で2次避難指示を出す(校庭等) ●安全確保ができたから体育館等での帰宅待機の指示を出す ●ホームページ等で帰宅指示情報を発信する ●安全確認をした上で、帰宅または保護場所への移動を指示し、帰宅が困難な生徒については掌握と対応を確実に進める ●Teams 等で安否確認を行う	留意事項 ◆東海地震の注意情報及び警戒宣言が発令された時点で、授業は打ち切られ、諸活動はすべて中止になり、臨時休校となります ◆警戒宣言が発令された場合、公共交通機関が運休・不通となる場合がありますので、この場合の帰宅方法についてあらかじめ話し合いをお願いします ◆携帯電話等が通じにくくなる場合があります。伝言ダイヤルの使用方法や通学ルートの確認など生徒の安否確認についてあらかじめご検討ください ◆生徒の帰宅困難が明らか場合は学校に留め置く(宿泊)場合があります	

災害等の緊急時には学校から Teams 等で安否確認が発信されるので、すぐに送信してください。

◆返信方法 件名…記入しない 本文…現在の状況を簡潔に入力 例) 無事帰宅 / ○○に避難中

災害発生時の連絡方法について

山梨県立甲府西高等学校

(1) 学校への連絡方法

◆ 甲府西高電話番号 055-228-5161

◆ 緊急連絡 Teamsチャットを用いて行うこと。

返信方法

○ 本文…現在の状況を簡潔に入力

例) 1701 岡本太郎 無事帰宅 / ○○に避難中

注意

○ 大規模災害発生時には、一時的に通信手段及び通信内容が遮断または不通といった通信混乱が生じる場合がありますが、復旧後、送信される場合がありますので、繰り返して連絡を続けるよう心がけてください。

(2) 学校からの情報連絡

◆ 学校ホームページ URL : <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

「緊急連絡」

「お知らせ」

「生徒保護者の皆さんへ」

} これらをご覧ください。

令和7年度 第2回総合防災避難訓練実施計画

生徒指導・生徒会指導部

1 訓練目的

東海地方に大規模地震が発生するおそれのある異常が発見され、警戒宣言が発せられたのち大規模な地震が発生したとの想定の下に、避難訓練をおこなう。地震予知から発災後までの県下一斉の実践的な防災訓練の一環として、防災意識の高揚と防災体制の確立強化を図る。

2 日 時

令和7年9月1日(月)～9月5日(金)のいずれかの日・時間に実施の予定

※今年度も抜き打ちで実施します。

※この日・時間は絶対に避けて欲しい等の要望がありましたら、早めに柏木までお願いします。

3 想 定

①伊豆半島沖でマグニチュード8規模の地震が発生、甲府市は震度6強(烈震)

②この後、職員室から校舎火災が発生

4 訓練の重点

(1)大規模地震災害(東海地震)への国・県・学校の対策についてその概略を理解し、これからの各自の対応を考える機会とする。

(2)避難経路に従い、整然かつ迅速な安全避難の習慣・態度を養う。

(3)災害用伝言ダイヤル(171)の利用法を理解し、利用訓練を行う。→ **9月1日(月)以降**

災害用伝言ダイヤル についての各HRで の指導	①災害用伝言ダイヤル(171)体験 ※9月1日(月)9:00～9月5日(金)17:00の期間 西高の模擬伝言が聴取可能 ※追加伝言の録音は絶対にしないこと ※操作方法 ① 171 ②ガイダンス → 2 をプッシュ ③ガイダンス → 055 228 5161 ④ガイダンス → 1 をプッシュ ⑤伝言再生 ⑥ガイダンス → 追加録音せず、そのまま終了 ②災害用伝言板(web171)体験 ※9月1日(月)9:00～9月5日(金)17:00の期間 https://www.web171.jp/ へアクセス(「災害用伝言板」で検索) a 災害用伝言板(web171)トップページの電話番号欄に家庭で登録した電話番号を入力する。 伝言を書き込む場合 → 登録ボタンをクリックして伝言を入力する 伝言を確認する場合 → 確認ボタンをクリックして伝言を確認する ③その他、携帯各社(ドコモ、au、ソフトバンク等)の「災害用伝言板」(文字メッセージ)は「災害用伝言板」で検索して各自確認する。
-------------------------------	--

(4)Teams のチャットを使った安否確認を行う。→ **必ず9月1日(月)帰宅直後、担任へ送信する**

5 係分担・準備等

- (1)事前準備：掲示、ストップウォッチ、ハンドマイク ⇒ 柏木
放送設備 ⇒ 宇佐美先生へ依頼
ライン引き（コーンの設置）⇒ 柏木

- (2) 雑巾の準備 **足拭き用濡れ雑巾** SHR中に準備しておく

- ②佐野・・・南館昇降口（グラウンド側）、南館1F 渡り廊下出入口

6 訓練内容

事項	訓練内容と留意点
1次避難指示	全校放送①（教頭先生）
机の下への避難（1次避難）	机の下にもぐる。 頭部を確実に机の下に入れ、机の脚をしっかりと持つ（1分程度）
地震効果音	机の下での待機中は、効果音（サイレン）が流れる（50秒間）
火災発生	緊急放送（機器のマニュアル通りに操作） 生徒・職員は、避難命令があるまで待機する
避難命令（2次避難）	全校放送②（教頭先生） 火気使用中の場合には、消火する 生徒指導主事は、避難行動の時間を計測
校庭へ避難 校舎側を向いて、 整列／各2列 南館校舎 本部 1年 2年 3年 5←1 5←1 5←1	上履きのまま、避難経路に従って避難する 私語をせず、階段を下りたら駆け足、校庭にクラスごと整列する ★各職員は、担当授業の生徒について確認の上、責任をもって避難させる ★年次所属職員は、校庭避難後直ちに 各年次・HRの集合場所に赴き 、担任の先生はクラスの生徒の点呼をとる ★ 保健安全部職員 及び 年次所属のない職員 は、必要に応じて担当授業生徒の避難確認後、保健室に赴き要介護生徒の避難にあたる ★点呼用名票・全校生徒名簿・筆記用具・防災マニュアルを準備しておく ★年次主任は各クラス担任および保健安全部主任からの点呼報告を、本部（教頭先生）は、各年次主任からの報告に備える ●校庭の南東隅に集合（北を正面にして、左図のように整列してください） ●HR委員長は各HRを各2列・出席番号順に整列させる ●各HRの正副担任は点呼確認を行い、年次主任に報告する ●保健安全部主任は、避難時の保健室関係の生徒状況を年次主任に報告する
◆人員確認の報告方法 ① 各HR 正担任・副担任 → 年次主任 → 教頭先生 → 校長先生 ② 保健室状況 保健安全主任 ◆報告内容 ○年次○組 在籍○人 欠席・不在○人 集合○人 異常なし	
講評	教頭先生
解散	講評終了後、上履きの土・砂を雑巾で落とす。原則として避難時の授業教室に戻り、授業担当職員の指示に従う。

終了後の校舎に入る際の注意事項（雑巾を設置するので、土・砂などを落としてから校舎内へ）

- ① 3年次生は、北館昇降口から
- ② 2年次生は、そのまま直進し、南館の（昇降口）南側から
- ③ 1年次生は、南館を東側に迂回し、南館1F 渡り廊下出入口から

「甲府市」または「自分の居住地」に発令された防災気象情報への対応

午前6時の警戒レベル		
5	大雨特別警報 氾濫発生情報	休校 自分の命を守る行動を最優先し、適切な避難行動をとる。
4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	登校禁止 原則として終日自宅待機とし、オンライン授業を実施する。 教職員が登校できない場合等については、オンライン授業を実施できないことがある。 「自分の居住地」での警戒レベルに注意し、適切な避難行動をとる。
3	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報	
2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	平常授業 登校時の安全が心配される場合は、今後の気象情報や地域の実情等を踏まえ、保護者と相談し、登校するか自宅待機か判断する。 自宅待機する場合には、必ず学校に連絡する。
1	早期注意情報	

※始業時間の繰り下げや休校となる場合は、随時BLEND・Teamsにて連絡する。

国際交流事業について

1. 現在実施している本校独自の事業

	実施時期	実施期間	実施場所	費 用	特記事項
マレーシア語学留学	3 月	14 泊 15 日	マレーシア WDU 大学内他	553,000 円 (2025 年 10 月現在)	(株) JTB の斡旋ですべて実施 (空港の送迎と週末の郊外活動時、現地ガイドあり)
English Camp	8 月初旬	5 日間	本校 (宿泊なし)	66,000 円	費用に関し、三菱未来財団より一人 6,000 円の参加費と交流会費(80,000 円)の援助あり

2. 事業の成果と課題

【成果 (利点)】

● マレーシア語学留学

- ・安全体制が整っているため、学習と共に生活の様子が学べる
- ・多文化共生を目の当たりにできる
- ・母語以外の言語として英語の重要性を感じられる

● English Camp

- ・校内で英語のみの体験ができる
- ・ライフミッションなどこれまで考えたことのない話題に触れられる。
- ・海外の一流大学の話を直に聞ける

【課題】

- ・物価 (航空費を含む) の高騰により年々費用が上昇している
- ・期間の確保が難しい
- ・参加費が高く感じられる (他との比較では大分安価ではある)
- ・三菱未来財団の補助が今後得られない可能性が高い (事業の継続保証がない)

3. 今後新たに導入したい事業

- 他国 (英語を母国語としない国) の IB 生との合同授業
- 他国 (英語を母国語としない国) の一般生徒の合同授業
- 海外大学の大学生、海外で働く方々からの話 (英語もしくは日本語で保護差・教員も含む)

4. 要望

- 海外で働く人材、海外とかかわる人材の提供
- 資金の援助

(案)

制服検討委員会・制服選定委員会の設置及び制服改定等に係る要綱

山梨県立甲府西高等学校

1.設置

「制服検討委員会」ならびに「制服選定委員会」を山梨県立甲府西高等学校に設置する。

2.委員

各委員会の委員は次の表のとおりとし、必要に応じて関係者および民間業者等に意見を求めることができる。各委員会は委員長が必要に応じて招集し、議事を総理する。

制服検討委員会(校内)	
委員長	教頭
委員	事務長
委員	教務主任
委員	生徒指導主事
委員	進路指導主事
委員	総合企画・研修部主任
委員	保健主事
委員	総務・教養部主任
委員	1年次主任
委員	2年次主任
委員	3年次主任
記録	生徒会主任

制服選定委員会	
委員長	校長
副委員長	PTA 会長
委員	PTA 保健体育専門委員長
委員	同窓会長
委員	甲府市立西中学校校長
委員	生徒指導主事
委員	生徒会長
委員	生徒会副会長
委員	生徒会副会長
委員	1年次主任
委員	2年次主任
委員	3年次主任
事務局	教頭
記録	生徒会主任

3.目的

甲府西高等学校の制服を改定する。

4.制服改定の時期

令和10年4月から新制服を導入する。(新1年生全員から順次新制服を採用)

5.制服改定(新制服の導入)の理由

令和7年度、甲府市立中学校において、ブレザー・スラックス型の制服が本格的に導入された。こうした社会的動向を踏まえるとともに、前回の制服改訂(平成25年)から相当の年月が経過していることを鑑み、令和の時代にふさわしい新たな制服の導入について、以

下の四つの観点から検討を行い、実施するものとする。

- ①制服を通じて本校の伝統と誇りを体現するとともに、新しいデザイン、付属品、着用方法等を取り入れることにより、先進性と発展性を兼ね備えた新たな本校のイメージを創出すること。
- ②新素材および最新技術を積極的に採用することで、快適な着用感を実現し、利便性および経済性に優れた、学校生活の質的向上に資すること。
- ③地域住民ならびに本校への進学を希望する中学生等に対して、本校の認知度を高めるとともに、他校との差別化を図ることを可能とすること。
- ④多様性を尊重し、性別に依存することなく、すべての生徒が自由に選択可能な制服を導入すること。

6.制服改定スケジュール

年度	月	内容	備考
R7	10月	制服検討委員会(校内)① ・制服勉強会	希望職員の参加可
	10月～	生徒ワーキンググループ ・生徒、教員等アンケート	
	3月	生徒ワーキンググループ ・中間報告 制服検討委員会(校内)② ・コンセプト案の立案	
R8	4月	学校運営協議会 ・コンセプト案の決定	
	7月	生徒ワーキンググループ ・最終報告	
	8月	制服検討委員会(校内)③ ・業者選定準備	
	10月～11月	制服選定委員会① ・コンペティション実施 ・業者決定	
	1月～3月	制服選定委員会② ・提案サンプル修正／変更 ・その他検討事項の確認	
R9	4月～	制服選定委員会③ ・制服決定 学校運営協議会 ・新制服披露	
	8月～	制服検討委員会(校内)④ ・制服規定／販売方法等確認	
R10	4月	新制服着用開始	

7.情報発信及び生徒の参画

- ・有志の生徒によるワーキンググループを立ち上げ、生徒の目線から制服に対する考え方や趣向について協議やアンケート調査をとりまとめ、制服検討委員会等の諮問に対して答申する。
- ・ワーキンググループや委員会の状況を、学校ホームページ等で周知していく。
- ・学校行事等の機会に見本等を展示し、学校内外への周知に努める。
- ・デザインの選定にあたって、ワーキンググループや生徒会の意見等を積極的に反映できるように努める。

8.その他

- ・事務局は山梨県立甲府西高等学校内に置く。
- ・委員の年度代わりや特別な変更がある場合は、委員長が専決できる。
- ・委員会はその他特別な検討事項等がなければ、令和10年3月31日をもって解散する。

附則

本要綱 は、令和7年10月 日から施行する。

令和7年度 甲府西高等学校評価(中間評価)

R7.10.24 学校運営協議会

番号	本年度の重点目標		現状の評価	
	評価項目	具体的方策	自己評価	進捗状況と今後の課題
1	個別最適な学びや協働的な学び、探究的な学びなどをおとした主体的に学ぶ力の育成	「問いを立て追究する」という生徒の探究力向上を目指し、深い学びを提供する授業改善に取り組む。	A	・9割の教員が探究的学習を意識した授業改善に取り組んでおり、職員が深い学びを提供しようとする高い意識を持っている。 ・今後、授業アンケート等により生徒の状況を検証し、更なる改善に努めたい。
		教員のICT活用指導力の向上を図り、各教科等の目標を達成するためにICTを利活用する。	B	・パソコンや情報機器を活用した授業が実践されており、教員のICTに係るスキルや活用への意識は高い。 ・感染症などによる欠席時において、ICTを活用した適切な学習支援が進められている。
		課題論文やIBを中心に据えながら、探究型学習プログラムや教育課程の開発整備に努める。	B	・探究の日(n-Quest)において3年次生の課題論文の発表(プレゼン・ポスター)を行った。1、2年次生にはこれから完成を目指す各自の課題論文への取り組みの指針として計画的に取り組むことに役立てている。 ・IBについては1年次生を対象に説明会や土曜講座においてプレ講座を行うなどして、周知に取り組んでいる。
2	自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成	生徒の学力向上に資する指導改善に向け、学びの基礎診断の結果をもとに生徒の基礎学力の分析と対策を適切に行う。	B	・学びの基礎診断においては学力到達目標と問題別正答率等の分析結果を職員間で共有し、課題と対応策を年次や教科で整理して指導に生かしている。 ・年次や教科間において情報共有・連携を図ることにより、生徒がバランス良く学習できるようにすることが課題である。
		進路講演会や進路ガイダンスを適切に配し、入試等への理解度を高めるとともに、目標達成に向けた学力向上に資する課外や講座等を効果的な実施する。	B	・講演会や進路ガイダンスは、適切に実施されている。 ・課外や土曜講座は計画的に実施されているが、内容や頻度については今後も生徒のニーズに合わせて検討が必要である。
		目標を意識し、その達成に向けて自主的に取り組む自己管理能力を向上させるため、学習手帳の利用を進め、面談や個別指導等に活用する。	B	・生徒は自己管理に学習手帳を有効活用している。 ・学習課題への取り組みに対するタイムマネジメント意識の向上のためにも、課題の内容、量、時期などの調整も必要と考えられる。
3	部活動や学校行事、学校外活動などにより、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中での成長を支援	豊かな人間性や人間関係形成能力の育成を図るため、生徒及び指導者のワークライフバランスの視点も含めながら、学校行事や部活動等のあり方を見直すことにより、生徒の主体的な取組を促す指導を推進する。	B	・生徒の学習活動と部活動が両立するよう工夫された指導が行われている。 ・学園祭等の生徒会活動は、生徒の自主性や社会性を育成する場となっている。生徒の自主性に任せるだけではなく教員の関わりが必要な場面もある。 ・道徳教育や人間としてのあり方生き方について考えさせる視点でのLHR活動を検討していく必要がある。 ・業務改善及び教員のワークライフバランス改善は依然として大きな課題である。
		社会の一員としての自覚、社会参画への意欲などの醸成に向け、地域貢献や異校種間交流、ボランティア活動など、様々な体験ができる機会を提供する。	C	・異校種間交流やボランティア活動など体験的な学習の機会の情報提供を行い、生徒が様々な体験を行えるようにしていく必要がある。
		悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、教職員間及び外部機関との連携を密にして、生徒一人一人の学校生活のサポートする。	A	・生徒が抱える悩みや情報は、プライバシーに配慮しつつ年次や職員間で共有され、指導に生かされている。 ・悩みなどを相談できる教育体制が整備され、必要な生徒・保護者に活用されている。 ・カウンセリングの需要に応じたスクールカウンセラーの時間数確保は課題である。
4	PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かした特色ある教育活動の構築と推進	グローバル化の進展やデジタルによる社会の変革など時代の変化になどに対応する素養を身に付けさせるため、PTA、同窓会、地域、大学や企業等との連携を図り、各種講演会など多様な学びの機会を提供する。	B	・各種講演会の機会を多く提供することができた。今後も、大学や研究機関と連携した講座、研修の機会を提供していく予定である。
		本校の特色化を図り、知的好奇心や探究心などの育成につなげるため、新入生に対してプレIB講座を実施するなど、IBの良さが共有できる教育活動を展開する。	B	・探究型学習を意識した授業改善に多くの教員が取り組んでいる。 ・1年次生に対して実施されたIBFD生によるプレIB講座により、周知が進められた。 ・IB教育についての中学生・保護者に向けた情報発信にはさらなる工夫が必要である。 ・IB認定校として本校の持続可能性等についての課題への対応が急務である。
		教育活動の充実改善に生かすため、ホームページを情報発信に留めず、双方向的に利用し開かれた学校づくりに有効に活用する。	B	・ホームページによる情報発信やBLENDやFormsを積極的に利用したアンケートを実施するなどICTを有効に活用している。 ・保護者へ迅速な情報提供をするために、BLENDをさらに活用していく必要がある。

評価基準

A	順調に進められており、達成度8割以上が見込まれる
B	概ね順調に進められており、達成度6割以上が見込まれる
C	課題が見られる状況であり、取組の改善が必要である
D	課題が多く、対応策の見直しが必要な状況である

出席者 内藤 貴夫 下飯田東部自治会会長
神田 浩明 P T A会長
石原 敬彦 同窓会会長
渡邊 英裕 学校長
手島 俊樹 元教育長、元校長
佐々木 南実 都留文科大学 文学部国際教育学科 専任講師 (オンライン)
向山 哲央 甲府市地域防災課課長
井上 雅博 株式会社アドヴォネクスト
高岡 健 甲府市立甲府西中学校校長

学校職員 渡邊 英裕 校 長
小池 裕美 事務長
三枝 和博 教 頭
秋山 岳臣 教 頭 (出張)
秋山 裕 教務主任・記録
早川 剛裕 進路指導主事
柏木 洋和 生徒指導主事
天野 圭 生徒会主任
齊藤 正樹 総合企画・研修部主任
平本 圭子 保健主事
後藤 詠一 総務・教養部主任 (欠席)
野崎 康子 IB 教育推進部主任

1. 開式の言葉 (司会)

2. 学校長あいさつ

本日は各主任よりこれまでの取り組みを報告させていただく。また、本日は議事も3点あるので、今後の学校運営のために忌憚のないご意見をいただきたい。

3. 会長挨拶

本日の会議に先立って資料を事前に送っていただいたが、それに目を通すと西高が多方面にわたって様々な活動をしていることがよく分かった。本日は審議事項もあるのでよろしくお願いしたい。

4. 報告事項

① 学園祭(鳳凰祭)について 生徒会主任

6/26~28の3日間にわたり開催、1日目は例年通りYCC、2日目は例年準備の日(休業日扱い)であったが、今年は登校日として西高生も楽しめる時間を設けることにした。来年度以降も今年度の反省を踏まえて検討したい。3日目は例年通りではあるが一般公開前に西高生の時間を設けた。

② 部活動について 生徒会主任

資料P.5参照 全国大会、関東大会等へ出場の部活動。

資料にはないが野球部が春の大会でベスト4(38年ぶり)に進出した。

③ 進路指導について 進路指導主事

資料p.6参照 過去5年間の大学進学状況 平均すると国立40%、公立20%となっている。

海外大学への進学者も出てきている。

県外国立大学進学者の上位3校は、信州大、静岡大、東北大となっている。

私立大では早稲田大、明治大、中央大が多い。

8月進路希望調査結果 80%くらいが国公立大を希望、最近国公立大の志望者がやや減少傾向。

資料 p.8 参照 前期進路関係行事一覧 各種進路行事を計画立案している。

④鳳凰学について 総合企画主任

資料 p.9-30 参照

西高探究学習の取り組みは、3年間かけて探究サイクルを2回回して論文を作成する。

一人一人の生徒が自分のテーマを持って研究する。全教員がスーパーバイザーについて全校体制で指導にあたる。

西高が中心になって県下合同の探究発表大会を開催 12校から350名の生徒が集まる。

ポスター発表部門、スライド発表部門：自然科学部門 人文科学部門 地域課題解決部門

展示販売部門など、県内企業を紹介するブースも設置。

⑤国際バカロレア教育について IB教育推進部主任

資料 p.31-32 参照

1)アセスメントについて

課題提出終了、来週から筆記試験

2)履修ガイダンス等

10/4 から実施中

3)CAS 活動

事例紹介

4)授業研究（公開授業の取り組み）

⑥防災行事について 生徒指導主事

資料 p.33-39 参照

「報告事項についてのご意見・ご質問」

委員：探究のところの資料についている QR コードが読み込めないが。

総合企画主任：教員しか見られない設定になっている。後でお見せできる。

5. 議事

(1) 国際交流について

校長：スクール・ミッションに照らし合わせて本校の使命と考える。

・現状：マレーシア語学留学 2年に1回、3月に15日間

English camp 毎年開催、レベルの高い学生が来てくれる。

・課題：資料 p.40 参照 費用的にも高額、欧米だともっと高くなる。今後の事業の継続性について。

・今後の展望：資料 p.40 参照、海外の生徒との交流や海外で働く方の講演などを実施したい。

授業を出来るだけでなくさないで授業時間内で実施できるものを考えている。

・要望：海外で働いている（いた）人材の確保に保護者、同窓会の協力をいただきたい。

委員：マレーシア留学を短い期間にすることができるか？

校長：15日あると国の留学補助が利用できる可能性がある、短くなると効果が薄くなる。

滞在費より航空運賃にお金がかかっている。

委員：海外に関わる人材のイメージとしてはどんな人材か？

校長：まずは英語を使って仕事をしている人など、授業の方では日本とは違う海外での物の見方などを教えてもらうこと。

委員：1期生に農水省で活躍していてイタリアに在住していた方（遠藤様）がいる。

校長：データベース化の枠を作れば情報を収集できるか？

委員：同窓会の人脈を使えば見つかるのではないか。

委員：A L Tの人脈を使えばどうか？西中では今年の夏の交流でお互いに行き来をして異文化体験活動などを行った。

委員：マレーシアに決めた理由は何か？

校長：金額、大学の寮が使えること、英語学習もできること。

委員：国の方から指定があったわけではないのか？安全面はどうか？

校長：国の方からの指示はない。学校の寮なので安全面も問題ない。

委員：実施時期については他の時期はあるか？

校長：3月は比較的長期の予定がとれるが、一部学校行事ともぶつかることが課題である。

委員：英語を母語としない国とは、こういった言語を想定しているか？

校長：英語を母語としないもの同士が英語を介してコミュニケーションをとるということ。

委員：商工中金の支店長がベトナムなどの滞在経験あり。

議長：提案に賛成でいいか？

参加者：賛成

（２）制服の見直しについて

教頭：中学校の制服の多様化、前回の改定から一定の期間がたっているため制服の改定を検討したい。

制服検討委員会については資料 p.41 を参照、空欄があるのは本校の O B 枠を考えている令和 10 年からの導入を予定

改定の方角・スケジュール 資料 p.42 参照

委員：子供たちが着たいような制服になればいい。

議長：中学校の教員だった立場から、女子生徒には人気がないという事実があった。

委員：変更は時代の流れだとも思うが学ランはリーズナブルであった。保護者への負担軽減を検討する必要があると思う。

議長：基本方針についてはこれでよいか？

参加者：賛成

（３）前期学校評価報告・後期学校評価に向けて

教頭：探究活動については自己評価も高く、生徒の満足度も高いので A。

悩みや問題を抱える生徒への対応についても A 生徒・保護者からも高評価を得ている。

ボランティア活動への取り組みは全体としては弱く C 評価。

教員の ICT 活用能力は他行に比べれば高いと思うが、もう一歩かと思い B。

生徒の主体的な活動については生徒教員とも高評価ではあるが、教員のワークライフバランスの部分には課題があるため B とした。

委員：夏休み中に西高の生徒に学習会の講師をつとめていただいた。非常に感謝している。

今度中学生が育てた花を持参したい、そのような取り組みを通じて交流を深められれば

委員：ICT も既存のものではなく自ら作り上げる時代になっていくのでは。弊社でもプログラミングを勉強していないものがやっている。学校ではその辺はどうなっているのか？

また、ワークライフバランスについてではあるが自分の成長に対しては時間とお金をかける必要がある。上から言われたことだけをやっていればいい時代ではない。

総合企画主任：プログラミングについては探究の事業の中でスクーミーという会社とタイアップしている。興味を持った生徒はいる。また情報の授業の中で取り扱ってはいる。

委員：探究活動の部分はA評価でもいいのでは。県下に広める活動は一部の生徒しか参加していないかもしれないが大変なことである。

フェンシングの大会参加について、西高に部活がなくても個人で活動している生徒が高体連の大会に出るために対応しなければならないケースだと思うが、中学校での部活の地域移行の動きがあるのでそういう対応を県に働きかけてもいいのではないか。

悩みを抱える生徒の対応に生成AIを活用する事例がでているが、便利なものではあるが使い方を誤ると危険なものになる。

P T A活動については、難しい時代ではあるがぜひ保護者の協力をお願いしたい。

校長：保健室を訪ねると悩み相談をしている生徒を多く見かける。生徒がAIに頼るという危険性もあるかと思うので対応を考えたい。

学校とP T Aの協力についてはP T Aと相談しながらよい協力関係を築いていきたい。

議長：学校評価の内容についてはよいか？

参加者：賛成

6. 意見交換

委員：同窓会東京支部に若い方がいる。在校生のためにお手伝いをしたいという方がいる。

学園祭の時に同窓会のブースを作っていただければ、対応をするという話が出ている。

校長：行事等で学校を訪れた際には生徒と意見交換などができればと考えている。そのような際にはご協力をお願いしたい。

委員：大学にも留学生がいるので、I B高との交流事業を考えていきたい。

7. 連絡事項

教頭：次回（第3回学校運営協議会）の日程について。

委員：11/9（日）に西高を会場として下飯田自治会の防災訓練を実施するのでご承知おき願いたい。

8. 閉式の言葉（司会）